



収穫したもち米を使っておもちつき 多留姫文学自然の里 もちつき大会

11月11日、中沢公民館で「多留姫文学自然の里 もちつき大会」が開催され、親子連れなど約80人が参加しました。

当日は、多留姫文学自然の里の神田で、昔ながらの手法を使い、田植えから稲刈り、脱穀をして収穫したもち米を使ってもちつきが行われました。

もちつきは、臼と杵を使う昔ながらのスタイルで行われました。使い慣れない杵に苦戦しながらも力いっぱいもちをつく参加者の姿が見られました。

ついたもちは、あんこ、きな粉、ゴマの3種類に味付けをして持ち帰りました。つきたてのおもちを味見をしていた子どもたちは、その美味しさに感激していました。

田植えからもちつきまで、1年を通して神田でのお米作りに参加した子どもたちには、景品も贈呈されました。



親子で楽しいクリスマス 0123広場 クリスマス会

12月9日、0123広場で「クリスマス会」が開催されました。88組の親子連れが参加し、クリスマスコンサートやサンタクロースとの交流を楽しみました。

クリスマスコンサートでは、「Aco Color +」の皆さんが、おもちゃのチャチャチャやクリスマスメドレーなどを演奏しました。子どもたちは鈴を鳴らしたり、手を叩いたりして演奏を楽しんでいました。コンサート後には、サンタクロースが登場し、子どもたちにプレゼントを配ったり、写真撮影をしてクリスマスを盛り上げました。



今シーズンの営業を開始 茅野市運動公園国際スケートセンター NAO ice OVALオープン

12月1日、茅野市運動公園国際スケートセンター (NAO ice OVAL) がオープンし、今シーズンの営業をスタートしました。この日は、リンクが無料開放され、市内外のスケートクラブをはじめ多くの方が来場しました。

オープン前の開場式では、山田教育長による会場宣言にあわせて花火が打ち上げられ、開場を盛大に祝いました。

スケートセンターは、2月18日まで営業しています。詳しくはホームページをご確認ください。



子どもたちの研究や創意工夫の成果を表彰 第35回 研究創意工夫展 表彰式

11月23日、茅野市の小中学生が夏休みなどに取り組んだ工作・絵画・研究作品を八ヶ岳総合博物館で展示する「研究・創意工夫展」の優秀作品表彰式を同博物館で開催しました。

今年は、市内9小学校と2中学校から、研究の部に71点、工作の部に135点、絵画の部に39点の計245点の応募がありました。その中から、茅野市長賞、教育長賞、博物館長賞、審査員特別賞に計16人が選出されました。



子どもたちの力作を表彰 調べ学習コンクール 表彰式

11月7日、茅野市役所で「第17回茅野市小中高生調べ学習コンクール」の表彰式が開催されました。今井市長をはじめとした各賞の授与者から、入賞者へ表彰状と盾が贈られました。

今年は、小学生の部971点、中学生の部344点の計1,315点の応募がありました。その中から、茅野市長賞、教育委員会賞、審査委員長賞、読書の森読りーむinちの賞、縄文賞、茅野市図書館賞、こども読書活動応援センター賞、審査員特別賞に計27点を選出されました。



茅野市内6つの小学校が150周年を迎える 米沢小学校150周年記念式典

11月17日、米沢小学校で150周年記念式典が開催されました。

6年生による進行のもと、合唱団と有志児童の合唱や吉本興業所属のお笑い芸人「ダンビラムーチョ」による漫才やジェスチャーゲームなども交えた講演が行われ、笑顔で150周年を祝いました。

今年、茅野市では、米沢小学校のほか、泉野小学校、永明小学校、金沢小学校、玉川小学校、豊平小学校が150周年を迎え、記念式典が開催されました。



絵本を通じて国宝土偶の魅力を伝えたい 「縄文どんぐりカフェ」による絵本の寄贈

12月14日、市民団体の「縄文どんぐりカフェ」から茅野市教育委員会へ絵本が寄贈されました。

同団体は、縄文時代の食を中心として気軽に縄文を楽しんでいる団体で、これまで親子向けの国宝土偶パン作り教室などを行っています。

寄贈された絵本は、同団体が1から作り上げた『2つの国宝土偶と黒曜石』100冊。国宝土偶の魅力や歴史をわかりやすく伝えたいと考え作成されました。

絵本は、市内小中学校のほか、図書館などの社会教育施設に配布されます。